

あさひ環境通信 vol. 18

4月号 発行日:平成29年4月1日

発行:朝日メンテナンス工業(株) 統轄本部 総合戦略部



名古屋学芸大学健康・栄養研究所との 学術共同研究が進められています！！

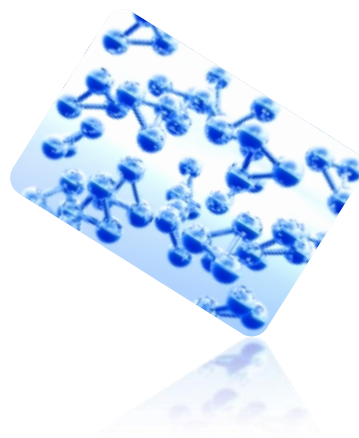


実践課題

感染症及び食中毒予防のための

環境清掃、洗浄、殺菌方法の提案と評価に関する研究

当社は CBS(クリーンバイオシステム®)等の洗浄・殺菌技術を「バイオケアシステム®」に応用して商品としています。この課題研究は CBS 等の技術を用いたトイレ環境の清掃、洗浄、殺菌方法の手法が微生物学的に妥当かどうかを検証、評価するとともに手順やツールなどの開発、提案をすることを目的としています。



この研究には、主任研究員として農学博士・岸本管理栄養学部教授が当られ、当社の植田（課長）、松岡（主任）客員研究員に今村（主任）がサポートします。さらに、卒業研究課題とする管理栄養学部3年の大脇さん、山口さん2名の学生も実践参画されています。



期待される成果として、ヒトの糞便およびトイレ環境が感染源になるリスクが高く、清潔な環境を維持することは重要で、公共施設及び商業施設のトイレについては管理者、利用者ともにその衛生状態に対する関心は高く、特に病院、高齢者施設、保育園、幼稚園、小学校等の免疫弱者が生活する施設では確実な除菌、殺菌が求められています。本研究は CBS が公共施設はじめ食品取扱施設における

トイレ清掃の業務手順を、科学的根拠を持って提案することができると想定して、環境清掃者が自らの健康維持（感染症予防）をしつつ、トイレ利用者にも安全と快適さを提供できると考えます。



なお、検証対象が給食管理実習室の更衣室専用トイレであり、食品安全の観点から洗剤、殺菌剤の使用が必要です。本研究には特に花王プロフェッショナル・サービス株式会社様の協力を頂いています。

「第1回 朝日未来ミーティング」を開催しました！！

去る2月16日（木）17日（金）の二日間にわたり、「ぎふ長良川温泉」での「第1回朝日未来ミーティング」に、株式会社伸栄フェルメンテック伊東社長様、有限会社ホテイ産業研究所白石社長様、日本カーペットクリーナーズアカデミー吉廣様、株式会社フルハン環境総合研究所城山様、Biocosm 株式会社平塚社長様の5名のゲストをお迎えし開催しました。当社からは林社長をはじめ8名の社員が参加し、深夜2時まで熱心な大いに未来を語る会を行いました。

今回の主目的は、当社の「バイオ」戦略の将来展望を見据えての通過点として、近々に成約が見込まれる契約事案の準備体制の協議、また、「バイオ」を使つての小学生を対象とする環境と清掃教育プログラムの商品化などの貴重な意見を頂きました。なお、新たに商品化するバイオ資機材「悪臭退治君（あくしゅうたいじくん）」のデザインなども協議されました。今後も継続しての開催を予定しています。

朝日 ニュースリリース

「第47期 朝日協力会社全国協議会エリア会議」を開催しました！

平成29年3月2日（木）中部エリア、3月7日（火）関東エリア、3月14日（火）静岡エリア、3月16日（木）北陸エリアとエリア別で開催し、総計50社51名の出席をいただきました。

現場におけるお客様へのマナー、作業実施時の注意事項やルールなど、品質向上のために活発な協議が行われ、また、永年の協力会社様、お客様から高評価をいただいた協力会社様の表彰も行われました。



「第47期 ショッピングカート回収業務従事者研修会」を開催しました！

平成29年2月16日（木）、当社研修室において「第47期 ショッピングカート回収業務従事者研修会」を開催しました。お客様と関わることの多い業務であるため、主に接客マナーや作業中の注意事項などを重点的に勉強しました。後半は、グループで分かれてのグループディスカッションを行い、日頃の経験を基に様々な意見交換が行われました。



朝日安全衛生委員会からのお知らせ

勤務中の事故防止のために！！

木々や花が芽吹き始める様子に、春の訪れを感じる季節となりました。

環境の変化などもあり、ちょっとした不注意による事故が増える時期でもあります。

皆で声を掛け合い、安全に働ける環境をつくりましょう。



春の全国交通安全運動が実施されます！

《期間》

平成29年4月6日（木）～ 4月15日（土）

《運動の重点》

- 子どもと高齢者の交通事故防止
（高齢ドライバーの事故防止を含む）
- 歩行中・自転車乗用中の交通事故をなくそう
- 後部座席を含めた全ての座席でシートベルトとチャイルドシートを正しく着用しよう
- 飲酒運転を根絶しよう



この時期は、気候が良くなり、行楽などで自動車を使ったり、外出する機会が増えたりして、交通事故の危険性が高まります。さらに歓送迎会や花見のシーズンでもあり、飲酒の機会も増えることから、飲酒運転による悲しい事故も懸念されます。自分の家族だけでなく、社会の一人ひとりの命を守るために、交通安全意識を高め、交通事故を防止しましょう！

編集後記

「医療」と「衣料」の二つの「いりょう」に助けられていることが60代半ばになる私には実感できる。「衣料」はヒートテックのように、この厳しい冬の寒さに大きな助けとなり、「医療」にあつては、歯科医と内科医の連携による「歯磨き」指導によって成人病リスクの対処方にこれも大きな助けとなる。歯科衛生士の幼子に対するような指導の煩わしさも健康の自信の礎となり、若者に交じっての肌着探しに、少しだけこだわりも覚える。（口）